

第106回 ISO理事会報告

2018年6月12日、13日

<ブラジル サンパウロ ABNT事務所>



2018年7月17日

一般財団法人 日本規格協会
標準化支援ユニット

ユニット長 若井 博雄

出席者：欧州10名、アジア7名、米州6名、アフリカ2名、中東2名

ISO幹部：会長（カナダ）、政策担当副会長（英国）、
技術担当副会長（オランダ）、財務担当副会長（豪州）
財務官（スイス）、事務局長（チリ）

理事会各国委員：

欧州：AFNOR（仏）、BSI（英）、DIN（独）、NZN（ニュージーランド）、SIS（スウェーデン）
SNV（スイス）、UNE（スペイン）、

アジア：BIS（インド）、BSN（インドネシア）、DSM（マレーシア）、JISC（日本）、
SAC（中国）

米州：ABNT（ブラジル）、ANSI（米国）、INTECO（コスタリカ）、IRAM（アルゼンチン）

アフリカ：INNORPI（フィジビア）、

中東：SASO（サウジアラビア）、

政策委員会議長：DEVCO（途上国：パナマ）、COPOLCO（消費者：アルゼンチン）
CASCO（適合性評価：南ア）

事務局幹部：次長、情報技術、技術政策、管理、コミュニケーション、政策

本日の議題：

1.財務事項：

- 会計報告（決議 28/2018）
 - 剰余金の分配（決議 28/2018）
 - 各国分担金の単価（決議 9/2018）
- ISO/CS財務モデル（決議 32/2018）
- CPAGの検討状況
 - 購読会員によるISO規格の採用（決議12/2018）

2.戦略事項：

- エグゼクティブスコアカード（決議 22/2018）
 - IT関連の、ISO/IEC協働（決議 23/2018）
- 地域取り決めのガイドライン（決議 6/2018）
 - シンガポールREI
- 途上国の為のリーダーシッププログラム（決議25/2018）
 - COPOLCO CAG
- 他組織との協力の原則（決議26/2018）
 - SAEとの協力
- ISO対外活動プログラム（決議24/2018）
- その他（SP）の話題
 - 規格のカテゴリー化
 - リスクマネジメント

組織体制及び運営事項：

- 組織
 - 新ユニットの創設
 - 理事会メンバーの交代（決議 16/2018）（決議 17/2018）
 - CSC/OVE（決議 31/2018）
- 次回の総会、理事会日程（決議 14/2018）

1. 財務事項：

1) 会計報告（決議 28/2018）

	2014	2015	2016	2017
Members	166	162	163	162
# of certifications as per ISO Survey of Certifications	1,476,504	1,519,952	1,643,896	na
Membership fees	21,190	21,146	21,149	21,110
Other revenues (services, project funded, financial revenue)	3,944	3,083	3,379	4,444
Total Net Revenues	38,909	38,450	39,826	41,857
Operational surplus	1,377	2,237	5,868	4,348
Pure new work items (approved), all deliverables	934	756	754	795
Average time of development - months: All ISO standards only	33.2	33.4	33.7	33.1
People involved in ISO system (Global Directory) including national committees	65,525	75,754	81,050	88,595

① 剰余金の分配 (決議 28/2018)

- ・ ISO規格の複製及び配布に関してISO/CSに支払われた使用許諾料に比例した会員への払戻しの為のkCHF 2266の割り当て
- ・ ISO/CSウェブストアでの販売に関する会員への追加の返還の支払いのためのkCHF 2266の割り当て

② 各国分担金の単価 (決議 9/2018)

- ・ 総会が2019年出資金ユニット単価として金額 CHF 4 904(2018年と同じユニット単価)を承認することを推奨

2) ISO/CS財務モデル (決議 32/2018)

ISOの財務モデルを少し修正したい (米国の意向:規格開発モデルの違い)。

コンサルタントのPwCが行った事: 今後CSC/FINで検討される。

- ・ 現行の財務モデル (ISO加盟国会費 + 規格販売ロイヤリティ) の評価
- ・ Technical model: calculation model の検証
- ・ Different organization (ITU, IEC, WTO, ... : financial organization) の評価
- ・ NSB representation: 加盟国主体の組織であることの再認識

3) CPAGの検討状況

①購読会員によるISO規格の採用（決議12/2018）

- NRPプログラム下で彼らが開発に参加するISO規格の国家採用（NA）の採用及び販売を許可し、ISO POCOSA2017に対して例外を認めることを承認し、
 - a)NRPプログラムの厳密な期間中のみ本例外が認められる。
 - b)権利は、会員本体による国家採用の採用及び各部の販売に厳しく制限される。
 - c)元のISO規格の販売を認めない。
 - d)購読会員はISOPOCOSAに関する教育訓練に従うことに同意する。
 - e)例外は、上記の条件を受け入れを確認する購読会員とISO/CS間の合意を通じて正式になる。

- その他：TMB TF WG 機械読み可能な規格へのCPAG代表者（NENの人）

2. 戦略事項:

1) エグゼクティブスコアカード (決議 22/2018)

- 優先順位の高いプロジェクトの進捗状況を監視するためのエグゼクティブスコアカードを使用するアプローチ及び形式を承認する。
 - 評価軸は : Status with 5 different options, Completion rate, Health icon (project progress), Issue icon, Budget icon, Internal resources icon, Issueをもつプロジェクト
 - 2.TMB project on “Virtual standard development process”
 - 11.Enable continuous learning and increases engagement by providing online learning capability
 - 17.Consolidate and simplify the suite of application and service supporting the Standards Development process
 - ✓ 19.New document management and collaboration platform (replacement of Living eCommittees/ISOTC)

- ✓ 20. New voting application (replacement of eBalloting)
- ✓ 21. New automated emails notification system (aim at simplifying and drastically decrease the number of automated email sent by ISO/CS)
- 22. Provide an online collaborative authoring platform as an alternative to the current word based practice
- 27. ISO/CS publication chain to produce NISO-STS compatible XML (and ISO-STS decommission planned and communicated to ISO Members)
- 29. Strengthen ISO/IEC collaboration to help achieve economy of scale in key IT investment, common members integration and solution ease of use.

① IT関連の、ISO/IEC協働（決議 23/2018）

- ・ 2018年戦略実施計画を基礎とし、可能な限り、本領域におけるIECとの協力及び協働を増やすための戦略を考慮しつつ、中央事務局がISO会員に提供するIT関連サービスに関する会員制をベースとした今後の展望を作成す
- ✓ITに関し、ISO/IECで、common vision を作る。
- ✓Common solution at the Regional & National levelを作る。Bottom upにする。ISO/IECで、principle paperを作らないとならない。
- ✓Strategy-delivery が一致しないとならない。ところで、ISO/CSにそれを担う十分なcapacity はあるのか。⇒増強の可能性あり。

2) 地域取り決めのガイドライン（決議 6/2018）

- ・ 自身の地域における利害関係者関与を支援するためのISO会員向け指針を承認し、これは会員から承認されるフィードバックに基づき、特に新たな事例研究又は地域イニシアチブについて、随時更新される生きた文書であり、CSC/SPがフォローアップ報告書を2019年9月の理事会会議に提示す・・・

①シンガポールREI

3) 途上国の為のリーダーシッププログラム（決議25/2018）

達成目標：

- Stability of leaders
 - Risk of rotation of CEOs --- 対象はnot only CEOs, retention of knowledge
- Building capacity, technical work
 - Capacity building （REIの活用）
 - Leadership training skills
- Investingで利益が出ること

① COPOLCO CAG

- COPOLCO活動に関して参加者が少ない。大部分の人は先進国であり途上国の参加が少ない、特にARSO, AIDMO and EASCからの参加が少ない。これら地域等の参加者に対する旅費補助ができないかという要望がCOPOLCO議長から出された。

4) 他組織との協力の原則（決議26/2018）

理事会文書38/2018 附属書1（改訂版）は、締結した合意書が協力に関する同原則に引き続き適合し、ISOシステムに価値をもたらしているかどうかを評価するためにそれらを定期的に見直す仕組みも含んでいることに留意する。

- ・ 非営利機関である
- ・ 合法的な機関である
- ・ 会員は世界又は特定の地理的経済圏に開かれている（地域標準化機関）
- ・ 国際規格開発に寄与する能力、専門的知識及び影響力を有し
- ・ コンセンサスに基づく合意形成の正式プロセスがある
- ・ 全ての関連する影響を受ける参加者に世界的に開かれている
- ・ WTOTBTの6原則を尊重する（透明、公開、公平、適合性、一貫性、途上国配慮）

① SAEとの協力

- ・ 当事者であるドイツ（自動車関連TC等の幹事国）は行き先を見守るであったが、米国（SAE本部の所在国）からは、SAEが著作権料を得ることができるこの制度（国家採用及び翻訳については、ISO会員によるSAEへの著作権料支払いを含んでいる）を称賛し、更に他のPSDOプロジェクトにも拡大させていきたいとの発言

5)ISO対外活動プログラム (決議24/2018)

- 一貫した主要メッセージ：
「①生産性」、「②ITデジタルへの移行」、「③健康と安全」、
「④コンプライアンス」、「⑤セキュリティー」、そして「政府役職員及び政治家に対して働きかけ」を世に伝える。

6)その他 (SP) の話題

- ① ISO規格のカテゴリー化及び枠組み規格（基礎規格）概念化
コンセンサス規格の種類：

種類 1	Technical standards 技術規格	Can be Measurable 計測可能
種類 2	Process standards プロセス規格	Can be Auditable 監査可能
種類 3	Framework standards 枠組み規格	Can be Assessable 評価可能

- このプロジェクトは、ドイツDINのイニチアチブの様である。Microsoft がプロジェクトのtrigger ではあるが、Market opportunity であることを何度も言及していた。
- Not IT only とは言われたが、主体は、IT reference modelが主要でありそうである。
- 但し、どのような規格が枠組み規格の対象(用語規格等)となるか（正確な定義を含め）は、TMBで議論。
- ISOとIECとの共通作業（例：JTC1）での使用を探る。

②リスクマネジメント

リスク	impact	probability	リスク	impact	probability
Less relevance of ISO standards , portfolio, time to market, loss of market share	5	3	Loss of experts	5	3
Free standards, business model	4	4	Trust loss, bland loss	5	2
Lack of communication	4	3			

3. 組織体制及び運営事項：

1) 組織

① 新ユニットの創設

Capacity building unit (6月)、 External relations unit including member support (7月)、 Research & Academy engagement (12月)

② 理事会メンバーの交代（決議 16/2018）（決議 17/2018）

- Dr Bronwyn Evans(オーストラリア)を副会長(財政)として2019-2020年任期中で総会が再任命することを推奨
(ところで、次期ISO会長はだれが立候補しているのか。)
- 理事会メンバーを務める会員団体の交代周期に関する推奨事項：グループ2以下の国（14か国）の任期を、毎年3分の1ずつ交代するように今年末で退任となる8か国の任期の調整を行う。

③ CSC/OVE（決議 31/2018） 監視委員会

- Mr Mauricio Céspedes Mirabelli (INTECO, コスタリカ)、即時から2020年末まで
- Mr Javier García Díaz (UNE, スペイン)、即時から2020年末まで
- Ms Surina Rajan (BIS, インド)、即時から2019年末まで
- Mr Christoph Winterhalter (DIN, ドイツ)、即時から2019年

2) 次回の総会、理事会日程（決議 14/2018）

- 2018年9月24日(月) ジュネーブ（スイス）；2019年の理事会会議日程：2月20日(水)～21日(木)、ジュネーブ(スイス)；6月11日(火)～12日(水)、サンホセ(コスタリカ)；9月16日(月)、総会会場ケープタウン（南アフリカ）
- 今後のISO総会の予定国：2019年南アフリカ、20年マレーシア、21年英国（25年ぶり）、22年豪州（20年ぶり）、23年UAE、… 26年フランス（AFNOR 100年記念）

☆ご清聴ありがとうございました

〈お問合せ先〉

一般財団法人 日本規格協会
国際標準化ユニット

TEL : (03)4231-8520

E-mail : kokusai3@jsa.or.jp